

コラム 1-1 うそ発見器は、うそを検出できるのか

うそ発見器という名前を聞いたことがある人は多いと思いますが、正式名称はポリグラフといいます。ポリというのは複数という意味で、心拍、呼吸、血圧、皮膚電気抵抗などの複数の人間の生理的指標の変化を測定するという意味から名づけられたものです。この装置は、犯罪捜査の過程などで、容疑者の証言の妥当性を評価するために使用されることがあり、アメリカでは多くの州法で、その結果が裁判などでの証拠として採用されています。それでは、ポリグラフはうそを発見できるのでしょうか？

人間は、心理的に緊張したり、動揺すると、心拍や血圧の上昇、呼吸のリズムの乱れ、皮膚電気抵抗値の低下を示す傾向があります。一般的に、人はうそをつくとき「やましい」と思い（発覚するのを恐れ）その結果生理的に覚醒し、同様の生理的変化を示します。そのため、ポリグラフの結果から、一定の確率でうそを検出できると考えているのです。

しかし、誰でも同じように「うそ」をつけば動揺するのでしょうか？たとえば、あなたが大学の教室で授業を受けているとき、突然複数の警察官が入ってきて「〇〇の容疑で署まで同行願います」と言ってあなたを警察署まで連行したとします。取調室では、白衣を着た技官が、あなたの手や体にたくさんの電極やベルトを装着し、そのコードはポリグラフという複雑そうな機械につながっていて、数多くのメーターが動き、ディスプレイには波形が映し出されています。そのような状況で、強面の警察官から質問をされたら、あなたが本当のことを言ったとしても、心臓はドキドキし（心拍の上昇）呼吸は乱れ、血圧は上がり、皮膚電気抵抗値は低下しているでしょう。その結果は、ポリグラフ上では「うそをついている可能性が高い」ということになってしまいます。

一方、前科 30 犯、刑務所に入っていた期間が娑婆にいた期間より長いというような強者（つわもの）の容疑者の場合、ポリグラフを装着されても特に不安を感じることはない場合も多く、心拍や呼吸・血圧などに目立った変化は見られず、言っていることが本当かうそかはわかりません。

つまり、ポリグラフは、装置がつながれた人の生理的変化を測定しているだけで、うそ自体を検出できるわけではないのです。したがって、うそ発見器という通称は、適切なものとは言えないのです。